

授業科目 解剖学実習Ⅱ

【担当教員名】 ○山田まりえ、西野幾子	対象学年	1	対象学科	言語
	開講時期	後期	必修・選択	必修
	単位数	1	時間数	30

<一般目標：G I O>

人体模型標本、口腔・咽頭・喉頭模型、平衡聴覚器模型などを用いて、人体、特に発生発語器官、聴覚器官を理解する。
人体組織、特に喉頭、コルチ器の微細構造を光学顕微鏡的に観察し、それらを理解する。

<行動目標：S B O>

1. 頭頸部の筋を観察・スケッチし、それらの名称、簡単な機能を説明できる。
2. 口腔・鼻腔・咽頭・喉頭の各構成成分を模型上で指示し、説明できる。
3. 喉頭内在筋の各々を模型上で指示し、簡単な機能を説明できる。
4. 外耳・中耳・内耳の構成を模型上で説明できる。
5. コルチ器の構造と機能を模型を用いて説明できる。
6. 系統解剖見学実習で頭頸部の理解を深める。

回数	授業計画又は学習の主題	SBO	
		番号	学習方法・学習課題又は備考・担当教員
1	実習の概要とオリエンテーション		実習
2	靭帯模型による頭頸部の筋の観察とスケッチ	1	〃
3	発生発語器官1～3 鼻腔～喉頭、舌～喉頭模型の観察とスケッチ	2	〃
～		3	〃
5			〃
6	平衡聴覚器官1～4 外耳～内耳模型、耳小骨模型の観察とスケッチ	4	〃
～		5	〃
9			〃
10	内耳・喉頭の組織学 コルチ器、喉頭の組織標本の観察とスケッチ	5	〃
11	系統解剖見学実習 新潟大学医学部	6	〃
～			〃
14			〃

【使用図書】	<書名>	<著者名>	<発行所>	<発行年・価格・その他>
教科書	入門人体解剖学	藤田恒夫 南江堂	2000年	5000円
参考書	ヴァルフ 人体解剖学アトラス	内野滋雄他 西村書店		8500円
その他の資料	プリントの配布			

【評価方法】 実習の出席・態度、小テスト、レポート スケッチブック、筆記試験 の総合評価	【履修上の留意点】 実習は標本の数により、全員が同じ順序では行えないので注意すること。解剖実習Ⅰと同様に欠席をしないこと。系統解剖見学実習の日程は冬休み期間中を予定している ので、特に注意すること。
--	---